

# 至仏山入山の皆様へ（H22シーズン）

## 1 GW(ゴールデンウィーク)前後の入山について

この時期の至仏山は、春山の穏やかな面と雪山の厳しい面を持っています。安易な入山は大変危険ですので、雪山登山の技術を持たない方は入山を控えてください。

また、入山する場合には植生保護のため『地面が露出しているところには、近寄らない』『残雪が多くあるところ以外は、乗らない・歩かない・スキーなどで滑らない』ようお願いします。

## 2 残雪期の登山道閉鎖について

残雪期の植生保護のため5月7日(金)から6月30日(水) <予定>まで至仏山登山道を閉鎖します。閉鎖解除日(山開き)は7月1日です。

雪が溶け地面が露出したところや残雪の薄くなっているところを踏みつけることは、芽吹き始めた高山植物へ大きなダメージを与えてしまうと、踏まれることによって地面が沈下し水の流れ道ができ、土壌を浸食することによって至仏山の荒廃をますます進めてしまいます。

## 3 山開き直後の利用について

雪渓を避けるために、指定された登山道から外れて植生の上を歩行することのないようにしてください。

年によって違いますが、山開きから7月中旬くらいまでは雪渓があります。入山する方は登山ガイドと入山されるようお願いします。また雪渓歩きは転滑落の危険が伴うため、残雪歩きの技術を持たない方は入山を控えてください

(雪渓の状況等は尾瀬保護財団ホームページ等で御確認ください)。



(H21.6.21 小至仏山南面の様子)

## 4 東面登山道について

東面登山道(山ノ鼻～至仏山頂)は山ノ鼻から「上り」専用です(山ノ鼻～森林限界は除く)。



東面登山道は、山ノ鼻から山頂までの直登のコースです。蛇紋岩という大変滑りやすい岩石でできているため「下る」ことは危険です。

また「下り」ではどうしても歩きやすい植生に乗ってしまい、植物を傷め、登山道の荒廃をさらに広げてしまうなど、至仏山荒廃の大きな原因の一つと考えられています。

## 5 至仏山のトイレについて

至仏山にはトイレがありません。登山口でトイレを済ませてから入山しましょう。万が一に備えて「携帯トイレ」を携帯されることをお願いします(使用済みの携帯トイレは持ち帰りをお願いします)。

## 6 ストックの利用について

尾瀬でストックを使用する際は、ストックの先端にキャップを付け、登山道の外側へ突かないようにしてください。尖った先端は植生や土壌を傷めます。

